更新

事業者名

株式会社ランバーやまと

## <2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

地球環境問題や脱炭素化への関心の高まりを踏まえ、過疎化に悩む地域産業の支え手として森林資源の価値をさらに向上させていくために、最新鋭機械の導入による生産性の向上、地元若者の雇用を通じた後継者の育成、熊本の桧のブランド化、高品質を追求し、併せて森林を維持、管理、循環させ、国土の環境保全と利活用を同時に実現するモデル事業体を目指す。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面	SDGsに関する重点的な取組み	指標
(分野に🗹)		(更新時に向けた数値目標)
☑ 環境		·森林管理面積 2023年80ha→2026年90ha
□ 社会	現在80haの社有林の適切な管理と面積の拡大による環境保全と利活用の促進	·植林  2023年4,000本→2026年
✓ 経済		5,000本
□環境	     / : / - : : : : : : : : : : : : : : : :	・インターンシップの受入人数
☑ 社会	インターンシップの積極的受け入れと地元若者の雇用の 促進	2023年 0名→2026年 20名 ・地元若者の雇用人数
✓ 経済		2023年 2名→2026年 10名
□環境		・製材量 2023年 53,000㎡→2026年
☑ 社会	生産性及び職場環境の向上と付加価値を上げるための高性能機械の導入促進	90,000㎡ ・売上高
☑ 経済		2023年 2,557,000,000円→ 2026年 4,200,000,000円

## <パートナーシップ>

関係事業者であるプレカット工場、木材センター、森林組合、商社、銀行と常に情報を共有、連携し製品のブランド化、高品質の製品作りに取り組んでいくと共に、行政や地域社会とも連携を密にし、山村過疎地域の活性化に貢献していく。

- ・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
- ・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、更新時までの数値目標を記載してください。 ・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。

<SDGsに関するこれまでの重点的な取組み及び指標に係る進捗状況>

三側面 (分野に <b>三</b> )	取組みの状況	前期の指標	実績
<ul><li>☑ 環境</li><li>□ 社会</li><li>☑ 経済</li></ul>	現在70haの森林の適切な管理と面積の拡大による環境保全と利活用の促進 →管理する面積の拡大を行い、目標を達成できた。	森林管理面積70→ 74haに3年間で 4,500本の植林	現在の社有林80ha 3年間で16,000本 の植林
□ 環境 ☑ 社会 ☑ 経済	インターンシップの積極的な受け入れと地元若者の雇用の促進 →周知や勧誘活動の不足等の理由でインターンシップの受け入れ、および地元若者の雇用目標は達成出来なかった。	3年間でインターン シップ18名、地元若 者の12名の雇用	インターンシップ無 し、地元若者2名雇用
□ 環境 ☑ 社会 ☑ 経済	生産性及び職場環境の向上と付加価値を上げる ための高性能機械の導入促進 →エッジャー、横ローラーバンドを導入し、目標を 達成できた。	エッジャー(巾揃え 機)、横ローラーバン ドなど3年間で4機導 入	エッジャー、2m材横 ローラーバンド導入 (2021年8月) クリ アシステム、3、4m材 横ローラーバンド導入 (2022年7月)

<sup>・「</sup>取組みの状況」には、前回登録申請した際の重点的な取組みの実施状況や指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。